

大阪大学外科専門研修プログラム

大阪大学では、外科専門医を取得することを目的とする外科専門研修プログラムを実施します。大阪大学附属病院を基幹施設として、外科学講座の関連 67 施設と連携します。本プログラムでは、441 人の専門研修指導医および年間 40000 件程度の NCD 症例を有しており、年間 70 名の外科専攻医を募集する予定です。リサーチマインドを持った医師を育てるため専門医教育、生涯教育まで一貫した医師の教育体制を構築しています。

大阪大学の外科学講座は一つのまとまりのもと、消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、小児外科といったサブスペシャリティに分れ臨床と研究を推進しています。各教室で、内視鏡手術やカテーテル治療に代表される低侵襲外科治療から、複合領域の拡大手術など、幅広く臨床活動を行っています。同時に、癌・免疫・再生医学などで最先端の研究も行っており、最新の研究成果を臨床に応用する from bench to bed side の先進医療も進めています。

また、本プログラムでは、関連施設での外科修練の機会を広く提供するため、グループ内施設間をローテーションし、様々な領域の症例を経験できます。できるだけ希望に応じて修練先をフレキシブルに対応しますので、希望の外科専門領域に合わせて大学や連携施設での修練を計画することが可能です。ハイ・ボリュームかつ多様性に富んだプログラムで、サブスペシャリティ専門分野、手術技術、研究活動などで各個人が描く将来像を実現できる修練の機会を提供できると思います。外科医を目指す初期研修医の先生方は遠慮せずにご連絡ください。

大阪大学外科学講座で切磋琢磨しながらともに学び、力を合わせて外科治療を発展させていきましょう。

大阪大学外科専門研修プログラムに関する問い合わせ

E-mail: osaka-u-surgery@surg.med.osaka-u.ac.jp

電話での問い合わせ

呼吸器外科 06-6879-3152、小児外科 06-6879-3753、消化器外科 06-6879-3251、乳腺内分泌外科 06-6879-3772、心臓血管外科 06-6879-3154

施設番号	施設名	研修指導医	NCD数
1	りんくう総合医療センター	14	871
2	市立豊中病院	13	1400
3	府立急性期総合医療センター	18	1994
4	JCHO大阪病院	12	998
5	市立堺病院	10	905
6	大阪医療センター	4	488
7	大阪警察病院	15	1985
8	府立成人病センター	15	1198
9	大手前病院	9	717
10	紀南病院	6	696
11	関西労災病院	12	1147
12	大阪労災病院	14	1257
13	河内総合病院	2	109
14	桜橋渡辺病院	3	209
15	東宝塚さとう病院	4	467
16	近畿大学奈良病院	17	766
17	東大阪市立総合病院	12	937
18	近畿中央病院	8	816
19	市立吹田市民病院	9	713
20	八尾市立病院	12	289
21	西宮市立中央病院	5	291
22	箕面市立病院	6	937
23	愛染橋病院	2	316
24	NTT西日本大阪病院	7	528
25	済生会千里病院	12	1097
26	済生会富田林病院	5	390
27	市立貝塚病院	8	464
28	市立川西病院	6	423
29	市立池田病院	9	815
30	日生病院	3	200
31	医誠会病院	7	540
32	加納病院	1	69
33	県立西宮病院	6	623
34	彩都友誼会病院	1	58
35	阪南中央病院	5	274
36	阪和住吉総合病院	5	397
37	市立芦屋病院	3	454
38	市立伊丹病院	8	966
39	守口敬任会病院	4	489
40	神戸経済会病院	5	457
41	清恵会病院	3	28
42	川崎病院	5	430
43	多摩総合病院	7	1939
44	大阪みなと中央病院	4	144
45	大阪中央病院	3	192
46	豊中緑ヶ丘病院	3	0
47	市立総合医療センター	24	252
48	八尾徳洲会総合病院	3	263
49	府立母子保健総合医療センター	5	746
50	森ノ宮病院	6	335
51	福井循環器病院	5	456
52	国立循環器病センター	1	120
53	心臓病センター榊原病院	2	350
54	吹田徳洲会病院	1	10
55	大阪南医療センター	2	85
56	尼崎中央病院	1	28
57	名古屋徳洲会病院	6	50
58	近畿中央胸部疾患センター	3	260
59	豊が丘厚生年金病院	1	120
60	刀根山病院	3	269
61	府立呼吸器アレルギーセンター	4	290
62	宝塚市立病院	3	130
63	福山医療センター	2	186
64	ベルランド総合病院	3	464
65	隈病院	8	1600
66	結核予防会大阪病院	3	63
67	独協医科大学埼玉医療センター	2	160
基幹病院	大阪大学	61	3073
合計		441	43061



大阪大学外科専門研修プログラム参加施設

本プログラムに按配された指導医数、年間 NCD 数を示した

採用方法:

大阪大学外科専門研修プログラム管理委員会は、毎年 7 月に説明会等を行い、外科専攻医を募集します。プログラムへの応募者は、9 月 30 日までに研修プログラム責任者宛

に所定の形式の『大阪大学外科専門研修プログラム応募申請書』および履歴書を提出してください。

申請書：

大阪大学外科学講座 website

<http://www.surg.med.osaka-u.ac.jp/index.html>

よりダウンロード

提出先：

〒565-0871

大阪府吹田市山田丘 2-2-L5

小児成育外科内 大阪大学外科専門研修プログラム管理委員会

田附 裕子

(「大阪大学外科専門研修プログラム応募申請書 在中」と記載してください)

大阪大学外科専門研修プログラム（詳細）

1. 大阪大学外科専門研修プログラムについて

大阪大学外科専門研修プログラムの目的と使命は以下の5点です。

- 1) 専攻医が医師として必要な基本的診療能力を習得すること
- 2) 専攻医が外科領域の専門的診療能力を習得すること
- 3) 上記に関する知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医となること
- 4) 外科専門医の育成を通して国民の健康・福祉に貢献すること
- 5) 外科領域全般からサブスペシャリティ領域（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科）またはそれに準じた外科関連領域（乳腺や内分泌領域）の専門研修を行い、それぞれの領域の専門医取得へと連動すること

2. 研修プログラムの施設群

大阪大学医学部附属病院と連携施設（66施設）により専門研修施設群を構成します。

本専門研修施設群では70名の専門研修指導医が専攻医を指導します。

専門研修基幹施設

名称	都道府県	1:消化器外科 2:心臓血管外科 3:呼吸器外科 4:小児外科	1. 統括責任者名 2. 統括副責任者名
大阪大学医学部附属病院	大阪府	1. 2. 3. 4. 5. 6.	1.奥山 宏臣 野口 眞三郎 澤 芳樹 森 正樹 土岐 祐一郎

専門研修連携施設

施設番号	施設名	研修指導医	NCD数	都道府県	施設としての研修担当分野 1:消化器外科 2:心臓血管外科 3:呼吸器外科 4:小児外科 5:乳腺内分泌外科 6:その他(救急を含む)	専門研修プログラム連携施設担当者名
1	りんくう総合医療センター	14	871	大阪府	1.2.3.4.5.6	位藤俊一
2	市立豊中病院	13	1400	大阪府	1.2.3.4.5.6	堂野恵三
3	府立急性期総合医療センター	18	1994	大阪府	1.2.3.4.5.6	岩瀬和裕
4	JCHO大阪病院	12	998	大阪府	1.2.3.5.6	畑中信良
5	市立堺病院	10	905	大阪府	1.2.3.5.6	大里 浩樹
6	大阪医療センター	4	488	大阪府	1.2.3.4.5.6	関本貢嗣
7	大阪警察病院	15	1985	大阪府	1.2.3.5.6	高橋俊樹
8	府立成人病センター	15	1198	大阪府	1.3.5.6	矢野雅彦
9	大手前病院	9	717	大阪府	1.2.3.6	中場寛行
10	紀南病院	6	696	和歌山県	1.2.4.5.6	長岡眞希夫
11	関西労災病院	12	1147	兵庫県	1.2.3.4.5.6	田村茂行
12	大阪労災病院	14	1257	大阪府	1.2.5.6	長谷川順一
13	河内総合病院	2	109	大阪府	1.2.6	松田成人
14	桜橋渡辺病院	3	209	大阪府	1.2.6	馬場雄造
15	東宝塚さとう病院	4	467	兵庫県	1.2.6	佐藤 尚司
16	近畿大学奈良病院	17	766	奈良県	1.2.3.4.5.6	湯川 真生
17	東大阪市立総合病院	12	937	大阪府	1.3.4.5.6	山田 晃正
18	近畿中央病院	8	816	兵庫県	1.3.5.6	大島聡
19	市立吹田市民病院	9	713	大阪府	1.3.5.6	衣田誠克
20	八尾市立病院	12	289	大阪府	1.3.5.6	佐々木洋
21	西宮市立中央病院	5	291	兵庫県	1.3.6	根津理一郎
22	箕面市立病院	6	937	大阪府	1.3.6	黒川英司
23	愛染橋病院	2	316	大阪府	1.4.6	松尾 吉庸
24	NTT西日本大阪病院	7	528	大阪府	1.5.6	大西 直
25	済生会千里病院	12	1097	大阪府	1.5.6	大東弘明
26	済生会富田林病院	5	390	大阪府	1.5.6	荻野信夫
27	市立貝塚病院	8	464	大阪府	1.5.6	西 敏夫
28	市立川西病院	6	423	兵庫県	1.5.6	杉本圭司
29	市立池田病院	9	815	大阪府	1.5.6	柴田邦隆
30	日生病院	3	200	大阪府	1.3.5.6	道清 勉
31	医誠会病院	7	540	大阪府	1.2.3.5.6	谷川隆彦
32	加納病院	1	69	大阪府	1.6	矢野浩司
33	県立西宮病院	6	623	兵庫県	1.5.6	小林研二
34	彩都友誼会病院	1	58	大阪府	1.6	林 太郎
35	阪南中央病院	5	274	大阪府	1.6	大橋一朗
36	阪和住吉総合病院	5	397	大阪府	1.6	金井陸行
37	市立芦屋病院	3	454	兵庫県	1	水谷伸
38	市立伊丹病院	8	966	兵庫県	1.6	村田 賢
39	守口敬任会病院	4	489	大阪府	1.5.6	丸山憲太郎
40	神戸掖済会病院	5	457	兵庫県	1.5.6	大鶴 実
41	清恵会病院	3	28	大阪府	1.6	黄 泰平
42	川崎病院	5	430	兵庫県	1.5.6	藤川正博
43	多根総合病院	7	1939	大阪府	1.3.5.6	小川淳宏
44	大阪みなと中央病院	4	144	大阪府	1.6	遠藤和喜雄
45	大阪中央病院	3	192	大阪府	1.5	弓場健義
46	豊中緑ヶ丘病院	3	0	大阪府	1.6	本間 太郎
47	市立総合医療センター	24	252	大阪府	1.2.3.4.5.6	米田光宏
48	八尾徳洲会総合病院	3	263	大阪府	1.2.3.4.5.6	木村 拓也
49	府立母子保健総合医療センター	5	746	大阪府	2.4.6	川田 博昭
50	森ノ宮病院	6	335	大阪府	1.2.5	大久保修和
51	KKR札幌医療センター	7	100	北海道	1.2.3.4.5.6	山内 孝
52	福井循環器病院	5	456	福井県	2	大橋 博和
53	国立循環器病センター	1	120	大阪府	2	藤田知之
54	心臓病センター榊原病院	2	350	岡山県	2	吉鷹 秀範
55	吹田徳洲会病院	1	10	大阪府	1.2.3.6	大畑 俊裕
56	大阪南医療センター	2	85	大阪府	1.2.5.6	山本 修二
57	尼崎中央病院	1	28	兵庫県	2.6	小林靖彦
58	名古屋徳洲会病院	6	50	愛知県	1.2.3.6	只腰 雅夫
59	近畿中央胸部疾患センター	3	260	大阪府	3.6	伊亨彦
60	星が丘厚生年金病院	1	120	大阪府	1.2.3.4.5.6	澤端章好
61	刀根山病院	3	269	大阪府	3.6	竹内幸康
62	府立呼吸器アレルギーセンター	4	290	大阪府	3.6	太田三徳
63	宝塚市立病院	3	130	兵庫県	1.3.6	福原謙二郎
64	福山医療センター	2	186	広島県	1.4.6	岩垣博巳
65	ペルランド総合病院	3	464	大阪府	1.2.3.4.5.6	阿部 元
66	隈病院	8	1600	兵庫県	5	宮 章博
基幹施設	大阪大学	59	2837	大阪府	1.2.3.4.5.6	
合計		430	39297			

3. 専攻医の受け入れ数について(外科専門研修プログラム整備基準5.5参照)
本専門研修施設群の3年間 NCD 登録数は 117891 例で、専門研修指導医は 430 名のため、本年度の募集専攻医数は 70 名です。
4. 外科専門研修について
 - 1) 外科専門医は初期臨床研修修了後、3年(以上)の専門研修で育成されます。
 - 3年間の専門研修期間中、基幹施設または連携施設で最低6カ月以上の研修を行います。
 - 専門研修の3年間の1年目、2年目、3年目には、それぞれ医師に求められる基本的診療能力・態度(コアコンピテンシー)と外科専門研修プログラム整備基準にもとづいた外科専門医に求められる知識・技術の習得目標を設定し、その年度の終わりに達成度を評価して、基本から応用へ、さらに専門医としての実力をつけていくように配慮します。具体的な評価方法は後の項目で示します。
 - 専門研修期間中に大学院へ進むことも可能です。大学院コースを選択して臨床に従事しながら臨床研究を進めるのであればその期間は専門研修期間として扱われません。
 - サブスペシャリティ領域によっては外科専門研修を修了し、外科専門医資格を習得した年の年度初めに遡ってサブスペシャリティ領域専門研修の開始と認める場合があります。サブスペシャリティ領域連動型については現時点では未定です(2015年7月)。
 - 研修プログラムの修了判定には規定の経験症例数が必要です。(専攻医研修マニュアル経験目標2-を参照)
 - 初期臨床研修期間中に外科専門研修基幹施設ないし連携施設で経験した症例(NCDに登録されていることが必須)は、研修プログラム統括責任者が承認した症例に限定して、手術症例数に加算することができます。
 - 2) 年次毎の専門研修計画
 - 専攻医の研修は、毎年の達成目標と達成度を評価しながら進められます。以下に年次毎の研修内容・習得目標の目安を示します。なお、習得すべき専門知識や技能は専攻医研修マニュアルを参照してください。
 - 専門研修1年目では、基本的診療能力および外科基本的知識と技能の習得を目標とします。専攻医は定期的に行われるカンファレンスや症例検討会、抄読会、院内主仙催のセミナーの参加、e-learningや書籍や論文などの通読、日本外科学会が用意しているビデオライブラリーなどを通して自らも専門知識・技能の習得を図ります。
 - 専門研修2年目では、基本的診療能力の向上に加えて、外科基本的知識・技能を実際の診断・治療へ応用する力量を養うことを目標とします。専攻医はさらに学会・研究会への参加などを通して専門知識・技能の習得を図ります。

- 専門研修3年目では、チーム医療において責任を持って診療にあたり、後進の指導にも参画し、リーダーシップを発揮して、外科の実践的知識・技能の習得により様々な外科疾患へ対応する力量を養うことを目標とします。カリキュラムを習得したと認められる専攻医には、積極的にサブスペシャリティ領域専門医取得に向けた技能研修へ進みます。

(具体例)

下図に大阪大学外科研修プログラムの1例を示します。専門研修3年間のうち6ヶ月は基幹施設で消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺内分泌外科の基本を研修します。残りの2年6ヶ月は連携施設のうち1ないしは2施設で地域の状況、将来のサブスペシャリティ領域専門医取得の希望に応じた研修を行います。



大阪大学外科研修プログラムでの3年間の施設群ローテーションにおける研修内容と予想される経験症例数を下記に示します。どのコースであっても内容と経験症例数に偏り、不公平がないように十分配慮します。

大阪大学外科研修プログラムの研修期間は3年間としていますが、習得が不十分な場合は習得できるまで期間を延長することになります(未修了)。一方で、カリキュラムの技能を習得したと認められた専攻医には、積極的にサブスペシャリティ領域専門医取得に向けた技能教育を開始し、また大学院進学希望者には、臨床研修と平行して研究を開始することができます。

- ・ 専門研修1年目

基幹施設あるいは連携施設群のうちいずれかに所属し研修を行います。

一般外科/麻酔/救急/病理/消化器/心・血管/呼吸器/小児/乳腺内分泌
経験症例 100 例以上（術者 20 例以上）

- ・ 専門研修2年目

連携施設群のうちいずれかに所属し研修を行います。

一般外科/麻酔/救急/病理/消化器/心・血管/呼吸器/小児/乳腺内分泌
経験症例 250 例以上/2 年（術者 90 例以上/2 年）

- ・ 専門研修3年目

基幹施設あるいは連携施設群のうちいずれかに所属し研修を行います。

一般外科/麻酔/救急/病理/消化器/心・血管/呼吸器/小児/乳腺内分泌
経験症例 350 例以上/3 年（術者 120 例以上/3 年）

（サブスペシャリティ領域などの専門医連動コース）

大阪大学医学部附属病院でサブスペシャリティ領域（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科）または外科関連領域（乳腺など）の専門研修を開始します。

（大学院コース）

大学院に進学し、臨床研究または学術研究・基礎研究を開始します。ただし、研究専任となる基礎研究は 6 か月以内とします。

3) 研修の週間計画および年間計画

基幹施設(大阪大学医学部附属病院例)

消化器外科

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00	術前・術後症例 カンファレンス	リサーチカンファレンス		消化器外科運営委員会 (第2・4週) 教室運営委員会(第1週)		抄読会	
	重症回診					総回診	
9:00	病棟業務	手術	病棟業務	手術	病棟業務	手術	病棟業務
10:00							
11:00							
12:00							
13:00	病棟業務	手術	病棟業務	手術	病棟業務	手術	病棟業務
14:00							
15:00							
16:00					移植カンファ レンス		
17:00				IBD合同カンファレンス			
18:00			食道合同カンファレンス		消化管 合同カンファレンス		
19:00				胆膵合同カンファレンス			
20:00	HCC合同カンファレンス						

心臓血管外科

	月	火	水	木	金	土	日
7:00	術前症例 カンファレンス	リサーチカン ファレンス					
8:00	ICUカンファ	ICUカンファ	ICUカンファレンス・回診	ICUカンファレンス・回診	ICUカンファレンス・回診		
	総回診	病棟回診	病棟回診	術後検討カンファレンス	病棟回診		
9:00	心不全回診 (循環器内科合 同)	病棟業務	手術	病棟業務	抄読会	病棟業務	手術
10:00	病棟業務				病棟回診		
11:00							
12:00	手術			手術	手術		手術
13:00	病棟業務	病棟業務	手術	病棟業務	病棟業務	病棟業務	手術
14:00							
15:00							
16:00					TAVIハート チームカン ファレンス		
17:00	弁膜症カンファレンス			小児心臓カン ファレンス	術前症例カンファレンス		
18:00	TAVIカンファ レンス						
19:00	血管カンファ レンス						
20:00							

呼吸器外科

	月	火	水	木	金	土	日
8:00	術前症例病棟症例検討会	研究カンファレンス・抄読会	小回診	合同術後検討会	小回診		
9:00							
10:00	教授回診	手術	手術	手術	病棟業務		
11:00	病棟業務						
12:00							
13:00							
14:00	病棟業務	手術	手術	手術	病棟業務		
15:00							
16:00							
17:00							
18:00	抄読会						
19:00	呼吸器外科内科放射線科カンファレンス						
20:00							

小児外科

	月	火	水	木	金	土	日
7:00		外科合同 リサーチカンファレンス (1・3週)					
8:00	重症回診	抄読会	重症回診	術後症例検討会	重症回診		
9:00	病棟業務	手術	病棟業務	手術	病棟業務	検査	病棟業務
10:00							
11:00							
12:00							
13:00	病棟業務	手術	病棟業務	手術	病棟業務	処置・検査	病棟業務
14:00							
15:00		総回診					
16:00		入院・術前症例 検討会					
17:00		胎児カンファ レンス					
18:00	小児外科 リサーチカンファレンス	小児腫瘍 検討会 (第1・3週)	移植・肝胆膵検討会 (第2週)				
19:00				血管腫・脈管奇形 合同カンファレンス(第4週)			

乳腺内分泌外科

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00	症例検討 カンファレンス			症例検討 カンファレンス			
9:00	教授回診			教授回診			
10:00	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務		
11:00	手術		手術	手術	手術		
12:00							
13:00	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務		
14:00	手術	超音波検査	手術	超音波検査			
15:00		マンモトーム 生検	マンモトーム 生検	マンモトーム 生検			
16:00							
17:00	病理合同カンファレンス						
18:00	症例検討 カンファレンス			症例検討カンファレンス			
19:00	リサーチ カンファレンス			抄読会			

連携施設(大阪府立急性期総合医療センター例)

消化器外科

	月	火	水	木	金	土	日			
8:00		外科系合同術前検討会		外科系合同術後検討会						
9:00	病棟業務	病棟業務	化学療法カンファレンス	病棟業務	総回診					
10:00			手術		病棟業務	手術	病棟業務	手術		
11:00										
12:00										
13:00										
14:00	病棟業務	病棟業務	病棟業務	手術	病棟業務	手術				
15:00							病棟業務	手術	病棟業務	手術
16:00							総回診			
17:00				外科系合同抄読会						
18:00		内視鏡カンファレンス	胆膵カンファレンス							
19:00										
20:00										

心臓血管外科

	月	火	水	木	金	土	日				
8:00	ICU・チーム回診	ICU・チーム回診	ICU・チーム回診	ICU・チーム回診	ICU・チーム回診						
9:00	病棟業務	手術	病棟業務	手術	外来	病棟業務	手術				
10:00											
11:00											
12:00											
13:00											
14:00	病棟業務	手術	病棟業務	手術	病棟業務	手術					
15:00							病棟業務	手術	病棟業務	手術	
16:00											
17:00		検討会									
18:00											
19:00											
20:00											

呼吸器外科

	月	火	水	木	金	土	日
8:00	小回診	小回診	小回診	小回診	小回診		
		外科系合同術前検討会		外科系合同術後検討会			
9:00	病棟業務	病棟業務	手術	手術	病棟業務		
10:00							
11:00							
12:00							
13:00							
14:00	病棟業務	病棟業務	手術	手術	病棟業務		
15:00					呼吸器外科カンファレンス		
16:00							
17:00		呼吸器合同カンファレンス		外科系合同診談会			
18:00							
19:00							
20:00							

小児外科

	月	火	水	木	金	土	日
8:00		外科系合同術前検討会		外科系合同術後検討会			
9:00	病棟業務	手術	病棟業務	病棟業務	手術		
10:00							
11:00							
12:00							
13:00							
14:00	病棟業務	手術	病棟業務	病棟業務	手術		
15:00							
16:00							
17:00				外科系合同診談会			
18:00							
19:00							
20:00							

乳腺内分泌外科

	月	火	水	木	金	土	日
8:00		外科系合同術前検討会		外科系合同術後検討会			
9:00	手術	病棟業務	手術	病棟業務	手術		
10:00							
11:00							
12:00							
13:00							
14:00	手術	病棟業務	手術	病棟業務	手術		
15:00							
16:00							
17:00			乳癌検討会	外科系合同診談会			
18:00			回診				
19:00							
20:00							

研修プログラムに関連した全体行事の年間スケジュール

月	全体行事予定
4	<ul style="list-style-type: none"> 外科専門研修開始。専攻医および指導医に提出用資料の配布(大阪大学外科学講座ホームページ) 日本外科学会参加(発表)
5	<ul style="list-style-type: none"> 研修修了者: 専門医認定審査申請・提出
8	<ul style="list-style-type: none"> 研修修了者: 専門医認定審査(筆記試験)
11	<ul style="list-style-type: none"> 臨床外科学会参加(発表)
2	<ul style="list-style-type: none"> 専攻医: 研修目標達成度評価報告用紙と経験症例数報告用紙の作成(年次報告)(書類は翌月に提出) 専攻医: 研修プログラム評価報告用紙の作成(書類は翌月に提出)
3	<ul style="list-style-type: none"> その年度の研修終了 専攻医: その年度の研修目標達成度評価報告用紙と経験症例数報告用紙を提出 指導医・指導責任者: 前年度の指導実績報告用紙の提出 研修プログラム管理委員会開催

5. 専攻医の到達目標(習得すべき知識・技能・態度など)
 - 専攻医研修マニュアルの到達目標1(専門知識)、到達目標2(専門技能)、到達目標3(学問的姿勢)、到達目標4(倫理性、社会性など)を参照してください。

6. 各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得(専攻医研修マニュアルー到達目標3ー参照)
 - 基幹施設および連携施設それぞれにおいて医師および看護スタッフによる治療および管理方針の症例検討会を行い、専攻医は積極的に意見を述べ、同僚の意見を聴くことにより、具体的な治療と管理の論理を学びます。
 - 放射線診断・病理合同カンファレンス: 手術症例を中心に放射線診断部とともに術前画像診断を検討し、切除検体の病理診断と対比いたします。
 - Cancer Board: 複数の臓器に広がる進行・再発例や、重症の内科合併症を有する症例、非常に稀で標準治療がない症例などの治療方針決定について、内科など関連診療科、病理部、放射線科、緩和、看護スタッフなどによる合同カンファレンスを行います。
 - 基幹施設と連携施設による症例検討会: 各施設の専攻医や若手専門医による研修発表会を毎年1月に大学内の施設を用いて行い、発表内容、スライド資料の良否、発

表態度などについて指導的立場の医師や同僚・後輩から質問を受けて討論を行います。

- 各施設において抄読会や勉強会を実施します。専攻医は最新のガイドラインを参照するとともにインターネットなどによる情報検索を行います。
- 大動物を用いたトレーニング設備や教育DVDなどを用いて積極的に手術手技を学びます。
- 日本外科学会の学術集会(特に教育プログラム)、e-learning、その他各種研修セミナーや各病院内で実施されるこれらの講習会などで下記の事柄を学びます。
 - ◇ 標準的医療および今後期待される先進的医療
 - ◇ 医療倫理、医療安全、院内感染対策

7. 学問的姿勢について

専攻医は、医学・医療の進歩に遅れることなく、常に研鑽、自己学習することが求められます。患者の日常的診療から浮かび上がるクリニカルクエスチョンを日々の学習により解決し、今日のエビデンスでは解決し得ない問題は臨床研究に自ら参加、もしくは企画する事で解決しようとする姿勢を身につけます。

学会には積極的に参加し、基礎的あるいは臨床的研究成果を発表します。さらにえられた成果は論文として発表し、公に広めるとともに批評を受ける姿勢を身につけます。

研修期間中に以下の要件を満たす必要があります。(専攻医研修マニュアルー到達目標 3ー参照)

- 日本外科学会定期学術集会に1回以上参加
- 指定の学術集会や学術出版物に、筆頭者として症例報告や臨床研究の結果を発表

8. 医師に必要なコアコンピテンシー、倫理性、社会性などについて(専攻医研修マニュアルー到達目標3ー参照)

医師として求められるコアコンピテンシーには態度、倫理性、社会性などが含まれています。内容を具体的に示します。

- 1) 医師としての責務を自律的に果たし信頼されること(プロフェッショナリズム)
 - 医療専門家である医師と患者を含む社会との契約を十分に理解し、患者、家族から信頼される知識・技能および態度を身につけます。
- 2) 患者中心の医療を実践し、医の倫理・医療安全に配慮すること
 - 患者の社会的・遺伝学的背景もふまえ患者ごとに的確な医療を目指します。
 - 医療安全の重要性を理解し事故防止、事故後の対応をマニュアルに沿って実践します。
- 3) 臨床の現場から学ぶ態度を習得すること
 - 臨床の現場から学び続けることの重要性を認識し、その方法を身につけます。

- 4) チーム医療の一員として行動すること
 - チーム医療の必要性を理解しチームのリーダーとして活動します。
 - 的確なコンサルテーションを実践します。
 - 他のメディカルスタッフと協調して診療にあたります。
- 5) 後輩医師に教育・指導を行うこと
 - 自らの診療技術、態度が後輩の模範となり、また形成的指導が実践できるように学生や初期研修医および後輩専攻医を指導医とともに受け持ち患者を担当し、チーム医療の一員として後輩医師の教育・指導を担います。
- 6) 保健医療や主たる医療法規を理解し、遵守すること
 - 健康保険制度を理解し保健医療をメディカルスタッフと協調し実践します。
 - 医師法・医療法、健康保険法、国民健康保険法、老人保健法を理解します。
 - 診断書、証明書が記載できます。

9. 施設群による研修プログラムおよび地域医療についての考え方

1) 施設群による研修

本研修プログラムでは大阪大学医学部附属病院を基幹施設とし、地域の連携施設とともに病院施設群を構成してします。専攻医はこれらの施設群をローテートすることにより、多彩で偏りのない充実した研修を行うことが可能となります。これは専攻医が専門医取得に必要な経験を積むことに大変有効です。大学だけの研修では稀な疾患や治療困難例が中心となり common diseases の経験が不十分となります。この点、地域の連携病院で多彩な症例を多数経験することで医師としての基本的な力を獲得します。このような理由から施設群内の複数の施設で研修を行うことが非常に大切です。大阪大学外科研修プログラムのどのコースに進んでも指導内容や経験症例数に不公平が無いように十分配慮します。

施設群における研修の順序、期間等については、専攻医数や個々の専攻医の希望と研修進捗状況、各病院の状況、地域の医療体制を勘案して、大阪大学外科専門研修プログラム管理委員会が決定します。

2) 地域医療の経験(専攻医研修マニュアルー経験目標3ー参照)

地域の連携病院では責任を持って多くの症例を経験することができます。また、地域医療における病診・病病連携、地域包括ケア、在宅医療などの意義について学ぶことができます。以下に本研修プログラムにおける地域医療についてまとめます。

- 本研修プログラムの連携施設には、その地域における地域医療の拠点となっている施設(地域中核病院、地域中小病院)が入っています。そのため、連携施設での研修中に以下の地域医療(過疎地域も含む)の研修が可能です。
- 地域の医療資源や救急体制について把握し、地域の特性に応じた病診連携、病病連携のあり方について理解して実践します。

- 消化器がん患者の緩和ケアなど、ADLの低下した患者に対して、在宅医療や緩和ケア専門施設などを活用した医療を立案します。

10. 専門研修の評価について(専攻医研修マニュアル-VI-参照)

専門研修中の専攻医と指導医の相互評価は施設群による研修とともに専門研修プログラムの根幹となるものです。

専門研修の1年目、2年目、3年目のそれぞれに、コアコンピテンシーと外科専門医に求められる知識・技能の習得目標を設定し、その年度の終わりに達成度を評価します。このことにより、基本から応用へ、さらに専門医として独立して実践できるまで着実に実力をつけていくように配慮しています。専攻医研修マニュアル VI を参照してください。

11. 専門研修プログラム管理委員会について(外科専門研修プログラム整備基準6.4参照)

基幹施設である大阪大学医学部附属病院には、専門研修プログラム管理委員会と、専門研修プログラム統括責任者を置きます。連携施設群には、専門研修プログラム連携施設担当者と専門研修プログラム委員会組織が置かれます。大阪大学外科専門研修プログラム管理委員会は、専門研修プログラム統括責任者(委員長)、副委員長、事務局代表者、外科の5つの専門分野(消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺内分泌外科)の研修指導責任者、および連携施設担当委員などで構成されます。研修プログラムの改善へ向けての会議には専門医取得直後の若手医師代表が加わります。専門研修プログラム管理委員会は、専攻医および専門研修プログラム全般の管理と、専門研修プログラムの継続的改良を行います。

12. 専攻医の就業環境について

- 1) 専門研修基幹施設および連携施設の外科責任者は専攻医の労働環境改善に努めます。
- 2) 専門研修プログラム統括責任者または専門研修指導医は専攻医のメンタルヘルスに配慮します。
- 3) 専攻医の勤務時間、当直、給与、休日は労働基準法に準じて各専門研修基幹施設、各専門研修連携施設の施設規定に従います。

13. 修了判定について

3年間の研修期間における年次毎の評価表および3年間の実地経験目録にもとづいて、知識・技能・態度が専門医試験を受けるのにふさわしいものであるかどうか、症例経験数が日本専門医機構の外科領域研修委員会が要求する内容を満たしているものであるかどうかを、専門医認定申請年(3年目あるいはそれ以後)の3月末に研修プログラム統括責任者ま

たは研修連携施設担当者が研修プログラム管理委員会において評価し、研修プログラム統括責任者が修了の判定をします。

14. 外科研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件
専攻医研修マニュアル VIII を参照してください。

15. 専門研修実績記録システム、マニュアル等について
研修実績および評価の記録

外科学会のホームページにある書式(専攻医研修マニュアル、研修目標達成度評価報告用紙、専攻医研修実績記録、専攻医指導評価記録)を用いて、専攻医は研修実績(NCD登録)を記載し、指導医による形成的評価、フィードバックを受けます。総括的評価は外科専門研修プログラム整備基準に沿って、少なくとも年1回行います。

大阪大学外科にて、専攻医の研修履歴(研修施設、期間、担当した専門研修指導医)、研修実績、研修評価を保管します。さらに専攻医による専門研修施設および専門研修プログラムに対する評価も保管します。

プログラム運用マニュアルは以下の専攻医研修マニュアルと指導者マニュアルを用います。

- ◎ 専攻医研修マニュアル
別紙「専攻医研修マニュアル」参照。
- ◎ 指導者マニュアル
別紙「指導医マニュアル」参照。
- ◎ 専攻医研修実績記録フォーマット
「専攻医研修実績記録」に研修実績を記録し、手術症例はNCDに登録します。
- ◎ 指導医による指導とフィードバックの記録
「専攻医研修実績記録II」に指導医による形成的評価を記録します。

16. 専攻医の採用と修了

採用方法

大阪大学外科専門研修プログラム管理委員会は、毎年7月から説明会等を行い、外科専攻医を募集します。プログラムへの応募者は、9月30日までに研修プログラム責任者宛に所定の形式の『大阪大学外科専門研修プログラム応募申請書』および履歴書を提出してください。

申請書は(1)大阪大学外科の website(<http://www.surg.med.osaka-u.ac.jp/index.html>)よりダウンロード、(2)電話で問い合わせ(呼吸器外科 06-6879-3152、小児外科 06-6879-3753、消化器外科 06-6879-3251、乳腺内分泌外科 06-6879-3772、心臓血管外科 06-6879-3154)、(3)e-mail で問い合わせ(osaka-u-surgery@surg.med.osaka-u.ac.jp)

u.ac.jp)、のいずれの方法でも入手可能です。原則として10月中に書類選考および面接を行い、採否を決定して本人に文書で通知します。応募者および選考結果については12月の大阪大学外科専門研修プログラム管理委員会において報告します。

研修開始届け

研修を開始した専攻医は、各年度の5月31日までに以下の専攻医氏名報告書を、日本外科学会事務局および、外科研修委員会に提出します。

- ・ 専攻医の氏名と医籍登録番号、日本外科学会会員番号、専攻医の卒業年度
- ・ 専攻医の履歴書(様式15-3号)
- ・ 専攻医の初期研修修了証

修了要件

専攻医研修マニュアル参照